

## 2020年OECD閣僚理事会 閣僚声明（仮訳）

### 「新型コロナウイルスからの強力、強じん、包摂的かつ持続可能な回復」

2020年OECD閣僚理事会に際し、10月28日及び29日、我々\*は議長国のスペイン並びに副議長国のチリ、日本及びニュージーランドのリーダーシップの下で会合を行い、新型コロナウイルス（COVID-19）からの回復に向けた計画及び国際協力への期待について意見交換を行った。

全ての国が新型コロナウイルスのパンデミックによる影響を受けており、OECD加盟国が回復するためには相互の協力が必要である。当初のショックが過ぎ、ワクチン及び治療が世界中で入手可能かつ購入可能な価格となるまでの間、我々は、ウイルスと闘うための取組を発展させ、強力、強じん、包摂的かつ持続可能な回復への基礎を築いている。

1. 我々の優先事項は、パンデミックにより悪影響を受けている人々に対する新たな機会を増やしつつ、深刻な打撃を受けた経済を再開し、雇用を支援し、クリーンな技術開発及び持続可能で質の高いインフラを促進することである。重要な経済活動を支えるため、持続可能な財政・金融刺激策の継続が短期的に必要となるであろう。支援のための財政措置は、各国の状況に合わせて調整され、的を絞った一時的なものであるべきである。債務の持続可能性の確保は常に考慮されるべきであるが、財政再建の開始が早すぎれば回復自体を危うくする可能性がある。

2. 新型コロナウイルスが引き起こした経済への衝撃は、デジタル化への移行を加速した。我々は、データ・フリー・フロー・ウィズ・トラスト（信頼性のある自由なデータ流通）によるデジタル経済の変革の可能性を活用し、データ保護及びプライバシー、デジタル・セキュリティ、偽情報及びデジタル格差等の課題に対応するために共に取り組むことにコミットする。我々は、より迅速な回復のためには、科学技術分野における国際協力を強化していくことが重要であると信じている。我々は、医療制度の強じん性及び対応能力の向上に努めていく。

3. 雇用機会の豊富な回復を促進していく中で、我々は、大企業及び中小企業における新しく持続可能な活動に向けた労働者スキルの再習得及び向上を含め、教育及び効果的かつ積極的な労働市場政策を強調する。我々はOECDが「ユース・

---

\*オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チリ、コロンビア、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、英国、米国、EUの閣僚及び代表。

アクション・プラン」を更新し、OECD 雇用戦略を引き続き実施することを歓迎する。我々は、適切な社会的保護により労働者を保護し、最も脆弱な人々を取り残さないような回復を促進するために、あらゆる努力を行う。我々は、回復において社会的パートナーと協力して取り組んでいくことの重要性を認識する。我々は、女性が経済の中で不可欠な役割を果たしており、また、このパンデミックの最前線に従事していることを認識する。女性の経済への完全な参加における法律上、規制上及び文化上の障壁を取り除く努力を行うことにより、女性が経済回復の重要な原動力となるように力を与える。また、広範な回復の一環としてジェンダー平等の重要性を認識する。

4. 我々が政策対応及び構造改革を策定及び実施するに当たり、我々は、事務局に対し、GDP 及び雇用のような伝統的な経済要素並びに持続可能性、包摂及び幸福に関連する環境及び社会的側面の両方を含む可能性のある指標ダッシュボードを持続可能な開発目標（SDGs）に沿って開発するという、委員会のレビューに基づいた取組を継続するよう求める。

5. 我々の回復計画は、よりクリーンで持続可能な経済を促進しながら、成長、収入及び雇用を押し上げる。循環型で、資源効率が良く、持続可能に物質管理がなされ、安全で持続可能なカーボンニュートラルな経済への前進は、加盟国により計画された一連の行動である。持続可能な金融及びインフラの役割は極めて重要である。我々が政策を再設計し、回復計画を実施していく中で、ブエノス・アイレス／大阪において不可逆性を確認した、パリ協定への署名国及び G20 に参加していないその他の OECD 加盟国による、国が決定する貢献を更新すること及び長期的計画を伝達することを含む、同協定の完全な実施への決意を認識する。全ての OECD 加盟国は、カーボン・フットプリント総量を削減しながら経済成長、エネルギー・アクセス及び安全保障を促進することを追求する。我々は、グラスゴーでの COP26 における良い成果に向けて取り組むことを期待している。

6. 新型コロナウイルスのパンデミックは、この危機が持つ国境を越える側面に対処するために、強固な国際協力及び効果的かつ透明性のある多国間機関が必要であることを強調した。自由で公平かつ予測可能な貿易及び投資は、多くの OECD 加盟国にとって回復の重要な要素である。我々は、市場の開放性を維持すること、世界貿易機関（WTO）の必要な改革を達成すること、また、公平な競争条件を確保することの重要性を認識する。パンデミックは、鉄鋼その他の産業部門の過剰生産能力により引き起こされた構造的不均衡を悪化させる恐れがある。我々は、これらの分野における市場歪曲的な支援措置に対し、より高い透明性と規律をもたらす努力を倍増する。必需品の供給に関して、起こりうる物資不足及びグローバル・バリュー・チェーンの強じん性についての計画及び対処に関する

政府の能力を強化する必要性を認識する。我々は、新型コロナウイルスの蔓延を阻止するための措置に従いつつ、ビジネスその他の重要な経済・社会・文化活動の継続のために必要となる国境を越えた人の移動の重要性を認識する。

7. 税に関する国際協調に関し、OECD は、我々が直面する課題に対する解決を促進し続けるべきである。我々は、経済のデジタル化に伴う課税上の課題について解決策に至り、残された相違点を乗り越えて、2021 年半ばまでにグローバルなコンセンサスに基づく解決策に至るために、引き続きコミットしていく。

8. 我々は、政府開発支援及びパンデミックの影響を軽減するために更に必要となる可能性のある行動等を通じ、開発途上国との国際協力の重要性を認識する。

9. 我々は、パンデミックへの対応に際し、OECD 事務局の価値のある支援に感謝する。我々はまた、経験及びベスト・プラクティスを交換するための、また、加盟国と協力して国際的に平等な競争条件を促す合意された勧告及び基準を策定するためのプラットフォームとしての OECD の役割と共に、G20、G7、APEC 及びその他の国際フォーラムにおける役割を評価する。この点について、我々は、OECD のグローバルなアウトリーチ活動を評価し、コミットしている非加盟国との互恵的な協力を歓迎する。我々は、「質の高いインフラ投資に関するグッド・プラクティス集」を歓迎する。我々は、「スタンダード・セッティングに関する進捗報告」に留意する。我々は、「金融リテラシーに関する OECD 理事会勧告」を採択する。

10. 我々は、理事会での更なる検討のために、「事務総長の戦略的方向性」におけるものを含む新たなイニシアティブを提案する事務総長の役割を認識する。我々は、2006 年以来 OECD を率い、OECD の妥当性と影響力を強化するための取組に成功した事務総長の役割を感謝とともに認識する。我々は、本年のコロンビアの OECD 加盟及び 38 番目の加盟国としてのコスタリカに対する加盟招請を歓迎する。我々は、強力、強じん、持続可能にして包摂的な回復及び加盟国主導の課題に向けた我々の取組を引き続き支援するよう OECD にコミットする。